

静内農高と森高の教員4人

授業改善の好事例学ぶ

道教大附属函館中を訪問

【函館発】静内農業高校（長）を訪問した。ICTを
と森高の教員4人が昨年 効果的に活用した思考力・
12月中旬、道教育大学附属 判断力・表現力を育成する
函館中学校（中村吉秀校 授業実践を参観。意図的な



ICTの活用など授
業改善の好事例を自
校へ持ち帰った。
静内農業高から石
田海斗教諭と飛岡健
教諭が、森高から金
子真実教諭と菅野真
文教諭が同校を訪
問。それぞれ教務主
任や自校のICT活
用推進に向けた校務
分掌を担っている。

道教委のICTを活用し
た学びのDX事業の指定を
受けている森高は先進校視
察の一環として来校。静内
農業高は前年度まで渡島教
育局の高校班主査を務めて
いた工藤淳教頭との縁もあ
り、自校の授業改善につな
げようと視察に至った。
4人は同校の数学科と社
会科の授業を参観。有金大
輔教諭が指導する1年生数
学科「比例と反比例」を視
察した際は、1人1台端末
を使用する場面や課題提
起、本時の目標を達成する
ための意図的なICT活用
を視念に生徒の思考・判
断・表現力を育成する授業
の在り方について理解を深
めた（写真）。

3年生社会科では、函館
財務事務所職員と道教育大
函館校で地域政策を専攻す
る大学2年生4人による財
政教育プログラムが行われ
た。生徒が学制から公共
サービスと公共施設、国の
財政の歳入と歳入の内訳、
日本の財政の現状、大きな
政府と小さな政府を学んだ
上で、異なる財政政策を掲
げる架空の2政党による模

道民カレッジ講座に1千人

デジタル活用学ぼう

参集、オンライン、出前講座展開

道民カレッジ（鈴木直道
学長）は本年度、会場参加
やオンライン配信などを駆
使したデジタル活用講座を
開催した（写真）。地域や
年齢による格差、デジタル
機器に対する知識の少ない
層と積極的に活用している
層の分断、知識の少ない層

選挙率を実施。こうした外
も意図や目的を明確化した
ICTの活用を模索し、主
体的・対話的で深い学びの
授業づくりに生かしていき
たい」と振り返った。

的に、各種講座を開催して
いる。
本年度実施したデジタル
活用講座をみると、かでの
2・7まなびの広場を会場
に、昨年6月29日から10月
15日までに「スマートフォ
ンの入門編」を48回、「P
Cのセキュリティ講座」を
10回開催。また講座を8管
内に7回配信したほか、デ
ジタル活用出前講座を6管
内で実施し、1000人を
超える道民が参加した。

の孤立化、活用動機希薄
さなどの解消に努めた。
道民カレッジは、産学官
が連携し道内各市町村で行
われている様々な学習機会
を体系化することで、道民
が自らの意思によって学
び、自立した北海道の創造
に寄与する人材の育成を目

シール専門学校の協力のも
と、ITメディア学科1年
生109人をはじめ、(株)B
WORKSの専門講師が担
当。PCセキュリティ講座
には、各地で講座を開催し
ている中山和夫氏が指導を
行った。
講座では、スマホのアプ
リ、ネット予約、カメラの
使い方、SNSの使い方、
情報流出防止策についてな
どを説明したあと、持参し
たスマホやPCを使って実